

研究課題名 倫理委員会承認 No. 2018-22	高齢者を対象とした栄養サポートチーム介入条件の妥当性の検討
研究対象	2015年4月1日から7月31日の間に南大阪病院の一般病棟に21日以上入院された65歳以上の方。
研究の目的	<p>栄養状態が低下している患者さんに対し、最良の栄養療法を提供する栄養サポートチーム（NST）が我が国では広く浸透しています。</p> <p>栄養状態を表す指標の一つに血清アルブミン値（Alb）がありますが、一般的には3.5g/dL未満の場合は低Alb血症とされ、厚生労働省の定めた栄養サポートチーム加算のNST介入条件では「Albが3.0g/dL以下」が一つの基準となっています。しかし、Albは加齢に伴って低下するため、南大阪病院ではNST介入条件を「Alb 2.7 g/dL以下」と他院と比べて低く設定しています。そこで、Alb 2.8-3.0 g/dLであった方（他院ではNSTが介入していた可能性が高い方）と、Alb 3.1-3.4 g/dLであった方（他院でもNSTが介入していなかった可能性が高い方）の栄養状態低下に関係する要因や在院日数を比較し、「Alb 2.7 g/dL以下」という南大阪病院のNST介入条件が妥当かどうかを検討することを目的としています。</p>
研究の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究デザイン：後ろ向き観察研究 2. 2015年4月1日から7月31日の間に一般病棟に21日以上入院した65歳以上の患者さんの、入院してから14日時点でのAlbの値により「中等度栄養不良群（Alb 2.8-3.0 g/dL）」と「軽度栄養不良群（Alb 3.1-3.4 g/dL）」に分類し、入院中の栄養状態・栄養摂取状況の変化やイベント発生率、一般病棟在院日数などを比較します。
研究の期間	2019年2月から2021年3月31日まで。
研究に用いる試料・情報	血液検査データ、身体所見等
外部への情報提供	個人情報については、記号・番号化などで匿名化します。すべてのデータは当院栄養科で責任をもって管理します。医学雑誌や学会発表に公表される時も、個人を特定されることはありません。
研究組織	社会医療法人景岳会南大阪病院
<p>本研究は、電子カルテよりデータを転記し、個人情報も管理するので身体的・精神的影響を与えることはなく、不利益並びに危険性はありません。</p> <p>本研究に協力することによって患者さんに通常診療以上の負担をおかけするものではありません。</p> <p>なお、今回の研究に協力しないことによって、当院の診断・治療において不利益を被ることはありません。</p>	
<p>【問い合わせ先または研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>社会医療法人景岳会 南大阪病院 診療支援部 栄養科 大出 佑美 〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1-18-18 Tel:06-6685-0221 (代)</p>	